

太鼓集団 天邪鬼 amanojaku



孤高の存在 進化する鼓響

伝統と創造の中で
ただひとつの音を極める
精神を高全ての五感を以って
太鼓の中にいる神と対峙した時
その一打は魂の叫びとなって
吐き出される

太鼓集団 天邪鬼 について

2006年12月に設立20周年を迎える太鼓集団天邪鬼は、伝統芸能の和太鼓に現代的要素を取り入れ、新たな和太鼓音楽の確立を目指し、あらゆる音楽的挑戦を続ける和太鼓プロ集団である。

日本人の心と江戸の粋を根底に、ラテン音楽で体得したリズム感性と、高度に洗練されたテクニックが加わり、変幻自在に具現化される天邪鬼の音響は独自の世界を創り出し、新たな可能性を感じさせる。

世界を舞台に活躍する天邪鬼は04年のブラジルツアー、05年のハワイ公演、06年のタイ公演など、北米・中南米・アジア・ヨーロッパ等40数カ国に及ぶ海外公演で圧倒的な支持を得、国内でのフェスティバル・公演活動・テレビ番組への出演に於いても高い評価を受けている。

また、国立劇場「日本の太鼓」のビデオ収録や「手練」・「Relax'95」ビデオの発売に加え、「魂の響」CDを発売するなど積極的な製作活動も行っている。

さらに、全国各地の創作太鼓の作曲指導にあたり、次世代の育成にも力を注ぎ、全国の和太鼓コンテストでは、数多くの優勝者を輩出。天邪鬼の代表者である渡辺洋一は、和太鼓指導の第一人者として、2003年度に文化庁から初の文化交流使の任命を受けた。ブラジル、オーストラリア、アメリカ、ヨーロッパなどの国をはじめ、国際的に和太鼓を広める活動を行っている。



武人 BUJIN



怒涛 DOTOU

(有)太鼓集団天邪鬼

〒177-0035 東京都練馬区南田中 5-9-11-101

TEL:03-3904-1745 FAX:03-3904-9434 E-Mail: taikoshudan@amanojaku.info

<http://amanojaku.info>



太鼓集団 天邪鬼 の理念

1986年12月 渡辺洋一を代表として発足
東京を拠点とし活動するプロ集団

太鼓集団天邪鬼は、結成以来伝統芸能である和太鼓に現代的な要素を取り入れ、新たな太鼓音楽の確立を目指し、日本人の魂と東京の粋さを根底に和楽器と洋楽器のアンサンブル等あらゆる音楽的挑戦を続けている。

和太鼓は、日本の誇れる文化。

太鼓の胴から打ち出される音は日本人の魂を奮わし、その響きは人々に喜びを与える。和太鼓の響きは単なる音ではなく、魂を呼び起こすリズムであり、太鼓音響は世界に共通する音になる。

今、和太鼓の世界は大きな変化を求めはじめ、伝統と創造が交錯している。伝統を根底に残し創造を生み出すことで、この素晴らしい文化は、次世代へ受け継がれ、時代の変化とともに進化してゆく。

天邪鬼の打ち出す音響は凜とした美しさ、リーダー渡辺の追い求めるものは太鼓打ちとしての凜美。東京の下町で生まれ祭りの中で培った気質、幼少の頃より傾倒したラテン音楽によって体得したリズム感性。

天邪鬼の音楽パフォーマンスには、その凜美とリズム感性が満ちあふれ、渡辺洋一のくり出す魂の音圧、そして小川ひろみ・川名真由美の高度に洗練されたテクニックが独自の世界を創り出し、筋肉修練によって鍛え抜かれた肉体と共に、人々の心を熱くする。



海人 UMIBITO



怒涛 DOTOU



三人囃子 SANNINBAYASHI



若武者 WAKAMUSHA



神楽 KAGURA



打ち出し UCHIDASHI



早獅子 HAYAJISHI

曲紹介



国立劇場 第64回

波のうねり Nami no Uneri

うち寄せ引いてゆく波韻の流れ 高まりゆく鼓動

The beating rhythm of the dashing, departing waves
The intensifying pulse of the drum

相生 Aioi

蓄積された二人の時は”呼吸”をとらえ
”間”を相生い共す

Time over time, the two breathe to coexist with a
timeless moment

神楽 Kagura

空間を切り裂く音 心は次第に郷愁を覚える

Sound pierces space
The heart remembers a forgotten past

武人 Bujin

かつてこんな太鼓を見たことがあるだろうか
今、全身に走る衝撃の戦慄

No one has ever witnessed such drumming
Now, the body fills with an awesome trepidation

怒濤 Dotou

解き放たれた濤声 荒波の如く

A thunderous voice set free by the waves

海人 Umibito

和太鼓生まれいずるこの地より
海を漂い辿り着きし国々

Japanese taiko-born of this land, wandering across
seas, touching faraway nations

鼓心 Koshin

響きの中に身をゆだね 鼓へと昇華してゆく

Follow the vibrations
Reach the ultimate in rhythm

魂の響き Tamashii no Hibiki

生命の気焔 轟く魂の響

The spiritual fire of life
The echoing beat of your soul



国立劇場 第86回



魂の響 公演



手練 公演



Relax'95 公演



天邪鬼 初演



原点を求めて 公演



Relax'95 ビデオジャケット



手練 ビデオジャケット

コンサート活動 魂の響きコンサート 今市市文化会館 川崎クラブチッタ 日本の響き 北陸ツアー 宇奈月国際「セレネ」 庄川町ふれあいセンター 大門町総合会館 魂の響き Soul Beat 愛知県碧南市文化会館 怒涛コンサート 瀬谷公会堂 中南米凱旋記念コンサート 川崎クラブチッタ 横浜市 天邪鬼コンサート ”音の舞” 公演 オリエンタルNIGHT 川崎クラブチッタ RELAX'95素敵な仲間達 日暮里サニーホール 天邪鬼コンサート IN HAWAII 手練 てだれ 東京芸術劇場 原点を求めて 練馬文化センター あなたの知らない世界 新宿シアターモリエール	海外公演 タイ バンコク公演 ハワイ コンベンション公演 ブラジル公演 アメリカデンバー文化交流使派遣 アメリカ公演 ローチェスター・ワシントン イギリスエジンバラヶ月公演 ロサンゼルス太鼓フェスティバル 中南米4ヶ国公演 エルサルバドル・パナマ・チリ・ ベネズエラ 東南アジア4ヶ国公演 タイ・インドネシア・オーストラリア ニュージーランド 澤田勝成会ヨーロッパ公演 ポルトガル・ベルギー・イタリア・ドイツ 天邪鬼パフォーマンス 公演 アメリカソルトレイクシティハワイ 天邪鬼コンサート IN HAWAII 中南米 五ヶ国公演 トリニダード・ドバコ・キューバ、ドミニカ ホンジュラス、ベネズエラ 天邪鬼パフォーマンス 公演 スペイン セビリア万博 JAPANフェスティバル タヒチ JAPANフェスティバル チェコスロバキア	フェスティバル 国立劇場 第86回民俗芸能公演 ”日本の太鼓”オンナが打つ 国立劇場 第68回民俗芸能公演 ”日本の太鼓” 天邪鬼 国立劇場 芸術祭主催公演 ”現代音楽の可能性” 山本邦山氏作曲 ”輪響” 国立劇場 第64回民俗芸能公演 ”日本の太鼓” 仙波清彦とはにわ隊 (財)日本太鼓連盟 全国フェスティバル チャリティコンサート 草月ホール 山形県太鼓フェスティバル 群馬県太鼓フェスティバル 愛媛県・広見町太鼓フェスティバル 愛知県宵祭り・青梅市太鼓フェスティバル 横浜八景島・愛媛県広見町太鼓フェスティバル 福島県伊南村・群馬県東村太鼓フェスティバル 福井県織田町・石川県輪島太鼓フェスティバル 秋田県鷹巣・静岡県南伊豆太鼓フェスティバル 岐阜県長良川太鼓フェスティバル 岩手県陸前高田太鼓フェスティバル 新潟県長岡リリックホール 長野県松本城フェスティバル 佐賀県サマーフェスティバル 横浜博覧会・大阪 花と緑の博覧会
芸能関連 NHK衛星重低音サウンド NHK お母さんといっしょ フジTV 大晦日スペシャル ”タモリの音楽は世界だ” 日本TV 夢LIVE2000 里見浩太郎特別公演 新藤兼人監督 ”午後の遺言状 TBS キテミテ！ SMAP×SMAP新春特番 ハロー！モーニング娘 たけしのこんなはずでは スパスパ人間学 テレビ朝日 ゆく年くる年 あいおい損保・新日本建物CM	販売品 魂の響きCD 発売 ライブビデオ 発売 RELAX'95 素敵な仲間達 ビデオ 発売 ～ 手練 てだれ ～ 国立劇場監修 ビデオ 発売 日本の太鼓”オンナが打つ” 天邪鬼グッズ Tシャツ・手ぬぐい・鯉口シャツ	その他 国際交流基金フェローシップ事業 ベネズエラのドラマー、エリアサル ジャネスの和太鼓研修受け入れ先 として6ヶ月間指導 太鼓指導 ブラジル太鼓協会、デンバー太鼓 大館まげわっぱ太鼓、久川城太鼓 義経弁慶太鼓、越中大島太鼓 平家太鼓、上杉管領太鼓 太鼓集団魁、OTAIKO座明神 鬼石三杉太鼓、上州あずま太鼓 天邪鬼保存会、巻狩り太鼓 日光杉並木太鼓、鮎壺富士見太鼓 山梨県太鼓連盟、大田区太鼓連合

演奏者プロフィール

渡辺 洋一 東京都荒川区出身

(有)太鼓集団天邪鬼 代表
文化庁 特別顧問・文化交流使
(財)日本太鼓連盟1級公認指導員・技術認定委員
(財)日本太鼓連盟東京支部 東京都太鼓連合 事務局長

天邪鬼を主宰する渡辺洋一は、幼少の頃から和太鼓の魅力に魅せられ1976年に日本初和太鼓プロ集団である助六太鼓に入門し、中心的プレイヤーとして10年活動した後、確実なる和太鼓の基礎を携え、新しい和太鼓音楽の確立を目指し、太鼓集団天邪鬼を発足。



以後、和太鼓音楽を広げようと模索、天邪鬼パフォーマンス”The Unknown World”を作曲、多彩な楽器を和太鼓に組み入れたことで、ジャンルの壁を飛び越えた新しい和太鼓音楽を創作発表する。そのかたわら、和太鼓のソリストとして、国内外のアーティストとセッションを行う等、多彩な音楽活動を続けている。

全国各地のふるさと活性化、青少年の育成等を目的として創作和太鼓の作曲指導を手掛け、着実なる成果を挙げている。

2003年度には、その高い指導力が認められ、文化庁から特別顧問・文化交流使の特命を受け、国際的に和太鼓を広める活動を本格的に行っている。

小川ひろみ 東京都千代田区出身 大妻女子大学短期大学部卒業

(財)日本太鼓連盟3級公認指導員

5才の頃より麹町囃子会に属し、祭囃子を修得。
大妻高校在学中、助六太鼓に入門し、川名真由美と共に母校に和太鼓グループ”雅彩”を結成。その演奏が脚光をあび、学生時代よりセミプロとして活動を開始する。



短期大学を卒業と同時に太鼓集団天邪鬼の旗揚げに参加し本格的にプロ活動をはじめ。以後国内外での演奏活動・テレビ出演をはじめ様々なアーティストとの精力的なライブ活動も行う。
国立劇場主催“日本の太鼓”—オンナが打つ—においては、日本を代表する女性和太鼓奏者として紹介され、その繊細でダイナミックな演奏は、多大な絶賛を浴びた。

川名真由美 東京都新宿区出身 大妻女子大学短期大学部卒業

(財)日本太鼓連盟3級公認指導員

小学生の時に盆太鼓を始め、新宿百鼓会に所属。
大妻高校在学中、助六太鼓に入門し、小川ひろみと共に母校に和太鼓グループ”雅彩”を結成。その頃より、セミプロとして活動を開始。



短期大学を卒業と同時に太鼓集団天邪鬼の旗揚げに参加し本格的にプロ活動をはじめ。以後国内外での演奏活動・テレビ出演をはじめ様々なアーティストとのライブ活動も行う。

国立劇場主催“日本の太鼓”—オンナが打つ—においては、日本を代表する女性和太鼓奏者として紹介され、その繊細でダイナミックな演奏は、多大な絶賛を浴びた。

涌井晴美 神奈川県出身

1978年より民謡をキングレコード専属 武花烈子師に師事。
4歳より民謡の道を志す。以来数々の国内年次大会において優勝を収め、毎年全国大会に出場。
2003年郷土民謡協会 民謡日本の祭りハイライトコンクール優勝。



1992年より天邪鬼 渡辺洋一氏に和太鼓を師事。
1996年から天邪鬼のプロ演奏者としての活動も始める。
現在では民謡歌手である傍ら、津軽三味線や民謡太鼓、
創作和太鼓の技術を身につけ、邦楽分野においてのオールマイティーな活躍で、
若手音楽家NO.1として、注目されている。

馬場 誠 福島県出身 東京外国語大学卒業

小学生より福島県伊南村 久川城太鼓で太鼓を始める。
その頃より久川城太鼓の指導者であった渡辺洋一に師事。
以後大学進学と共に上京。同時に天邪鬼にて本格的太鼓修行を始める。



1998年には福井県に於ける
”OTAIKO響け ALL JAPAN OTAIKO CONTEST 大太鼓一人打ち”
にて優勝。
翌年、同CONTESTグランドチャンピオン大会にて敢闘賞に輝く。
東京外語大学在学中には、東南アジア全域における民族音楽の歴史と変遷を
題材とした研究も行う。
現在天邪鬼において、若手主要メンバーの一員として数々の演奏活動を行い、
天邪鬼保存会での指導役としても会員の指導を中心に活躍している。



影山 伊作 サンフランシスコ出身 国際基督教大学卒業

幼少の頃より和太鼓奏者ケニー遠藤氏の元で太鼓を始める。
帰国後、太鼓集団 天邪鬼 小学生の部に所属し渡辺洋一に師事。
中学生時代に一時アメリカに戻るが、高校進学と同時に帰国。
再び太鼓の道を志し、天邪鬼保存会創生期メンバーとなる。



2000年富士山太鼓祭り・2003年室蘭太鼓祭りにおける大太鼓一人打ちコンテストに
於いて見事優勝に輝く。
和太鼓を通し”人間である意味”を問い、命の大切さを伝え、より平和な世界へと貢献し
てゆきたいという彼の太鼓観は、魂の込められた命の音となり人々の感動を呼ぶ。
天邪鬼保存会の中では指導役としても活躍している。



掲載記事

(記事全文は <http://amanojaku.info/> でご覧頂けます。)

自然と健康 11月号 日本ジャーナル出版

美しきナチュラルたち：小川ひろみ・川名真由美

まっすぐにぶつかれば必ず何かが返ってくる
その経験が私たちが素直な気持ちにさせてくれる
まるで遠い国へ響く音楽のように

日々精進して自分を高める
道としての太鼓を伝えてゆきたい



4尺もの大太鼓を間に、スレンダーな女性二人がバチをかまえる。透き通るような静寂が周囲をそっと包み込む。と、次の瞬間、まるで稲妻が大地を打つかのような衝撃が走った。背の後ろから振りかざされるバチ、そしてその先から、鋭く、強大な力がまるで閃光のように放たれる。先刻まで小さく見えた二人の姿が、いつしか巨大な仁王像と重なる。そのとき私は思う、彼女たちが太鼓の神を呼び起こし、その声が私の魂を揺さぶっているのだ、と――。



文化庁月報1月号

太鼓集団天邪鬼代表 渡辺洋一さん に聞く

渡辺さんは、現在、太鼓集団「天邪鬼」の代表として、また財団法人日本太鼓連盟一級公認指導員・技術認定委員として、公演のみならず、国内外における後世育進にも力を注いでいます。渡辺さんは、八月十五日から九月六日までの一ヶ月間、米国コロラド州のデンバーにおいて、現地の和太鼓グループの指導をしたほか、子供たちへの講習会や、現地の和太鼓グループ等との共同公演を行いました。

― 指導やデンバー太鼓との公演を通じて印象に残った出来事などありますか。

■ デンバー太鼓のメンバーとの心の“触れ合い”“魂のぶつかり合い”をもてたことが特に深く心に残っています。最初に顔を合わせてから、日を追うごとに“師匠と弟子”という間柄に発展していきました。日本でいうところの“師”という存在が根本的にないアメリカで、この関係を築けたことは、私自身、今もって驚くばかりです。ともに汗を流し、音を奏で、和太鼓を通して一日ごとに互いの信頼を深め、人はわかり合えることを実感し、真の文化交流ができたと思えています。



- ☆自分としてはまれな経験だが、やっつくびすじの毛がさき立つ思いをした。(Sunday Herald)
- ☆天邪鬼の舞台は力強く肉体的、ビジュアル面では驚きあふれ、完璧に翻弄される。(Strathmore Selects)
- ☆劇場は天邪鬼がつくりあげる喜びをひたすら引きたてる。彼らの楽器から解き放つ感情はまるで神秘的で生のエネルギーが脊髄まで避けずすみ、体全身が響きにふるえ、疲労と元気をいっしょに感じる。
- ☆力強いオーラに満ち、パフォーマンスは自信に満ち意味深く、そのあまりの優雅さと迫力のある体験はまるでテンポ、ビート、リズムと律動がまわりにうずまくハリケーンの真ん中に座っているかのようだ。(The Scotsman)
- ☆この演奏は想像を掻き立てる体験で感情的にさえる。ドラマー達から発せられるエネルギーが感じられ、彼らの喜びもプライドも分かり、すべてにひきこまれる。今まで最も素晴らしいコンサートとなった。(Edinburgh Festival)
(海外メディアより抜粋)